

■ グローバル統一の品質保証

品質基本方針のもと、開発から生産まで一貫して品質を保証しています。全拠点で品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」「IATF16949」の認証を取得。TQM^{※1}の基本理念に基づき、拠点ごとに品質目標を立てて生産を行っています。また品質向上のノウハウやルールを盛り込んだ「品質システムグローバルスタンダード」を用いてグループ全社で品質を確保しています。

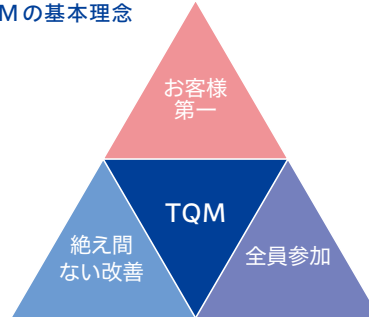
※1 “お客様第一”を基本に、“絶え間ない改善”と“全員参加”により、「品質・仕事の質」「人と組織の活力」を高め、柔軟で強靱な企業体質をつくる活動(Total Quality Management)

製造工程での品質確保と品質問題への対応体制

クルマの基本性能(走る・曲がる・止まる)を支え安全に直結する部品(保安部品)の生産工程を中心に自工程完結^{※2}を進めています。世界のお客様から「品質の豊田合成」と評価いただけるよう、全拠点で「品質安心宣言活動」^{※3}を推進。自動化^{※4}による「不良をつくれない・流さない“工程づくり”」と、品質に対する感性を高めて「ミスをしないう“人づくり”」の両輪で品質向上に取り組んでいます。さらに保安部品の生産工程に対しては認定監査員による監査・改善を行っています。

市場で品質問題が発生した場合は、自動車メーカーから

TQMの基本理念



の情報に基づき速やかに原因を調査して、再発防止策を実行できる体制を確立しています。また、原因究明・解決が自社だけでは困難な場合は、テスト車両による検証などに基づく的確な再発防止策を自動車メーカーの品質部門とともに講じ、以降の製品の品質不具合を未然に防止しています。

※2 「品質は工程でつくり込む」を理念とし、不具合品をつくらない、流さないようにすること

※3 全員参加による品質改善の取り組みのこと。製造工程の全ての係が「人づくり」と「工程づくり」の両輪で品質改善を実施。各テーマの目標が達成できた段階で、係長が事業領域長に対し「安心宣言」を行い、事業領域長が現地現物で確認する活動

※4 機械設備の異常や、品質の異常、作業遅れなど何らかの異常が生じた際に、機械設備が自ら異常を検知して自動で停止するか、技能員自身が停止スイッチを押すことで、ラインを止められるようにすること

TOPICS 品質のマインド醸成に向けた「品質学習館」の設立

仕入先様・海外拠点を含むメンバー全員が品質を繰り返し学び、「お客様第一」「品質第一」で考え・行動できるマインドを醸成する場として「品質学習館」を設立しました。過去の不具合事例の伝承に加え、品質を大切にしてきた自社の歴史や、TG Spiritを実践した品質改善の事例、未来へ向けた取り組みなどを展示しています。



品質学習館の見学の様子

TQM 活動による企業体質の強化

“お客様第一”を基本に、“絶え間ない改善”と“全員参加”により、「品質・仕事の質」「人と組織の活力」を高め、柔軟で強靱な企業体質をつくるTQM活動を、全社を挙げて推進しています。

「職場マネジメント改善活動」や「小集団活動」など従来からの改善活動に加え、激しい環境変化に対応するため「AI・ビッグデータの解析力」や「創造性を磨くための思考法」を身に付ける教育なども順次展開しています。また、データリテラシーや多様な発想力を醸成し、DXなどの変革や競争力の強化に寄与できる人材を育成し、風土醸成を図っています。

また、グローバル展開については、中国やASEAN地域

を重点に、小集団活動の活性化を各拠点と進めています。2016年から「グローバル小集団活動大会」を開始し、相互研鑽も図っています。

TQM活動

階層	実施事項
管理職	職場マネジメント改善活動
事技職	小集団活動(グループ改善活動) SQC ^{※5} /AI ^{※6} 実践力向上活動 ※5 SQC:Statistical Quality Control(統計的品質管理) ※6 AI:Artificial Intelligence(人工知能)
技能職	小集団活動(QCサークル活動)